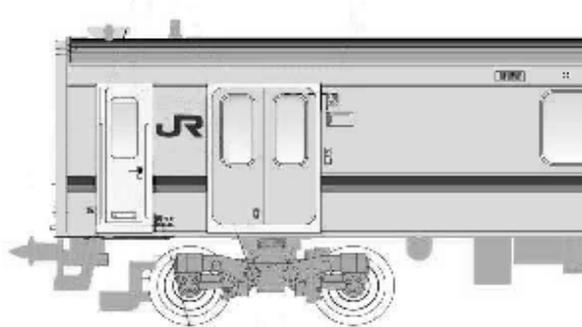
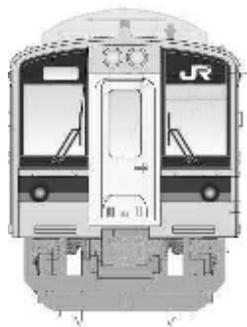


A4950 701系100・1000番台 仙台色 6両セット

予価:19,800円(税別)
JANコード:100240 カート内入数:12

A4980 E127系100番台 大系線 4両セット

予価:16,000円(税別)
JANコード:100271 カート内入数:12



A4980

商品形態 Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 ブックケース入り)

実車

【A4950】
701系は東北・秋田地区で走っていた客車列車の置き換え用として登場した3扉ロングシートの交流電車です。最初に秋田地区に投入され、1993年6月21日から営業運転を開始しています。その後、補助電源装置をSIVとした100番台が秋田地区に、1994年12月からはパンタグラフを変更した1000番台が盛岡地区に、仙台地区には1000番台が1995年3月から営業開始、秋田新幹線の標準軌用として5000番台が1997年3月から、さらに回生制動に変更となった1500番台が仙台地区に登場し、山形新幹線新庄延伸用として5500番台も登場しています。現在、東北地区の電化区間では最も多く見られる形式となっています。
仙台地区用の1000番台は東北本線一関～黒磯間、岩切～利府間、仙山線仙台～作並間で運転されています。100番台は、山形新幹線新庄延伸工事に伴い1999年3月に転属し、パンタグラフ交換、仙台色へ変更をされ、常磐線いわき～仙台～利府間で運転されています。東北本線で100番台と1000・1500番台と併結運用されることもあります。

【A4980】
新潟地区で走っていた165系普通列車を置きかえる目的で、東北地区で既に活躍を始めていた701系の直流バージョンとも言えるE127系が1995年に登場しました。車内はロングシートとなっています。2～6両編成を組んで新潟地区の通勤・通学輸送で活躍中です。1998年には長野地区にもパンタグラフのシングルアーム化、車体を701系と同様のデザイン、また座席をクロスシート・ロングシートの千鳥配置としたE127系100番台が投入され、大系線で運用されています。なお、11・12番編成は冬季の霜取対策でパンタグラフが2基搭載されています。

商品概要

- ・マイクロエース電車シリーズの更なる充実。
- ・JR東日本の3扉ステンレス車を二種類同時発売。
- ・ヘッドライト、テールライト点灯(ON-OFFスイッチ付き)。
- ・足下が引き締まる黒染め車輪を採用。

A4950

- ・A4920:701系やA4921:青い森鉄道701系、A4922:IGRいわて銀河鉄道7000系を元に、仙台地区の701系を再現したセット。
- ・4両固定編成の1000番台と2両固定編成の100番台を組み合わせた6両編成。
- ・701系中間車のボディを新規製作。
- ・側面帯は赤色+白+緑色の「仙台色」。同じ色のA8140・719系との並びをお楽しみ頂けます。
- ・前面貫通扉の色の違いを再現。1000番台:緑色、100番台:銀色
- ・屋根は全体を銀色、ランボードやアンテナ、ガイシなどをグレーに塗り分け。
- ・100番台(クモハ701-102)のパンタグラフは、ひし型パンタグラフに載せ変えられた後の姿。
- ・JRマーク、所属表記、ナンバー、車椅子マーク等を印刷済み。
- ・座席は全体を赤色、優先席を青に塗り分け。
- ・1000番台先頭車側面には部品共用のため、実車にはないワンマン表示窓が付きます。

←一関・作並・利府・仙台			郡山・黒磯→		
◇		◇		◇	
クモハ701-1016	サハ700-1001	モハ701-1001	クハ700-1016	クモハ701-102	クハ700-102
←ライト			ライト→	←ライト	ライト→
				モーター	

JR東日本商品化許諾済

A4980

- ・A4970:E127系新潟色とは異なる前面を持つ、大系線E127系を再現するセット。
- ・トイレが新たに設けられたクハE126型の側面を新規製作。
- ・側面帯は水色と青緑色の「長野色」。
- ・JRマーク、所属表記、ナンバー、車椅子マーク等を印刷済み。
- ・座席にはセミクロスシートを再現(一部座席配置が異なります)。座席全体を青色、優先席を赤に塗り分け。
- ・実車に則し、屋根上にはシングルアームパンタグラフを取り付け。

←松本		南小谷→	
>		>	
クモハE127-107	クハE126-107	クモハE127-109	クハE126-109
←ライト	ライト→	←ライト	ライト→
		モーター	

JR東日本商品化許諾済

付属品 行き先ステッカー